

## 予算案あれこれ



2020年版の愛知自治体キャラバン報告集が完成します。250円。注文は自治体部までどうぞ。

**扶桑町 第三子以降の学校給食無料化** 約150人。720万円の予算を組む。

**豊川市 豊川市民病院の全職員約千人を対象に一律5万円の慰労金を支給**する方針を固めた。予算は約6000万円の予算。市内のコロナ感染者は約400人。市民病院はコロナ患者を受け入れる地域の中核病院。

**岡崎市 補正予算で水道基本料金4か月間減免**する。予算規模は5億3千万円。4月以降に生まれる新生児に5万円支給する予算も。

**東浦町 結婚新生活支援事業** 39歳以下の夫婦の新居家賃や引っ越し費用を補助する。所得制限あり、上限30万円。国の地域少子化対策重点推進交付金を活用。



## 各地の介護保険料

**半田市** 介護保険料の基準月額を 5480円から5600円へ120円値上げ。5億9千万円の基金は全額取り崩す。

**愛西市** 介護保険料の基準月額5100円から5500円に400円値上げ。基金は4億7千万円のうち取り崩すのは3億円。調整交付金(5%)が3.5%にとどまり2億円以上の負担。保険料段階は11→12段階に。

**日進市** 国保税に続き、介護保険料も据え置く。基準月額5363円。12月段階では5400円程度への値上げも検討されたが、民商も交渉でがんばり据え置きに。18歳までの入院医療費も無料化に。

お辞めください！河村市長  
 リコール追及で党への共感広がる



3.2.26 中日		名古屋市会資料
<p>登壇した江上議員は、市選管事務局の職員らが県選管の依頼でリコール署名の</p>	<p>名古屋市議会は二十五日本会議を再開し、新年度予算案以外に関する個人質問を行った。共産の江上博之議員は、大村秀章知事へのリコール(解職請求)運動で偽造の疑いのある署名が多数提出された問題を取り上げ、運動を支援した河村たかし市長の責任を追及。市長を支持する「減税日本ナゴヤ」の議員が反論する場面もあった。リコールを巡る論戦のヤマ場となる三月上旬の質問を控え、早くも議場で火花が散り始めた。</p>	<p><b>リコール問題で火花 論戦ヤマ場来月上旬から</b></p> <p>調査に駆り出された点を指摘。その上で河村市長について「市民への謝罪もなければ、署名運動を推進した責任すら述べていない」と厳しく批判。普段は共産議員の質問に拍手を送らない自民議員からも「いいぞ、いいぞ」の声が上がった。</p> <p>その後、この日予定された江上議員と次の田辺雄一議員(公明)の質疑が終了した段階で、減税の大村光子議員が発言を求め、江上議員の追及について「市長の政治姿勢に対し、侮辱、もしくは名誉毀損になりかねない発言」だと強くけん制した。</p> <p>これに対し、自民の藤田和秀議員は大村議員の発言のタイミングについて「後出しじゃんけんっぽい」と</p>
<p>「引き続き、市長の責任を追及したい」と述べ、定例会の中で厳しく責任を問う意向を示した。</p> <p>(水越直哉)</p>	<p>皮肉った。反論をするのであれば、矛先を向けた江上氏の発言の直後にすべきであるとの趣旨だった。この間、当の河村市長は答弁を求められず、自身に関するやりとりを不満そうな表情で見つめていた。</p> <p>本会議後の取材に河村市長は「推測でいいかげんなこと言っちゃいけません。早く真相を解明して、私が関係していないことが分かれば」などと述べ、改めて自身が不正に関与していないことを強調した。</p> <p>自民、民主、公明、共産の各会派は、来月四日の代表質問、五、八、九日の個人質問で不正署名問題についてたえず構えて、議員と市長の直接のやりとりが想定されている。江上議員はこの日の質問の最後に「引き続き、市長の責任を追及したい」と述べ、定例会の中で厳しく責任を問う意向を示した。</p>	